

環境経営レポート

令和元年度

(2019年10月から2020年9月まで)



1. 事業所名及び代表者氏名

：北清企業株式会社

：代表取締役 高橋 俊一

2. 所在地（認証範囲における事業所名とその住所）

本 社（本社倉庫含む）： 北海道札幌市東区北丘珠 5 条 4 丁目 5 番 7 号

北清リサイクルファクトリー： 北海道札幌市東区北丘珠 3 条 4 丁目 1 番 5 号

北清リサイクルセンター： 北海道札幌市北区篠路町拓北 6

2020 年 10 月 1 日より簡易自社整備を行うため中沼の貸倉庫を使用する。

段階的取得とし 2023 年 9 月までに EA21 に対応する。

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

：常務取締役 貞池 秀高

：北海道札幌市東区北丘珠 5 条 4 丁目 5 番 7 号

：TEL (011) 791-1101 : FAX (011) 791-1233

4. 事業内容の概要(認証範囲における業務範囲)

：産業廃棄物収集運搬業

：特別管理産業廃棄物収集運搬業

：産業廃棄物処分業（中間処理）

：一般廃棄物収集運搬代行業務

：札幌市清掃業務委託業務

：一般廃棄物収集運搬業（限定）

5. 事業の規模

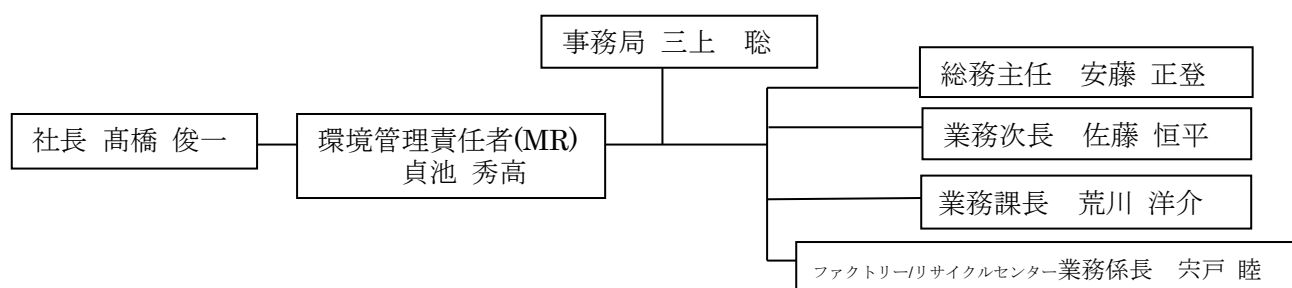
活動規模	単位	2018年9月期 第48期	2019年9月期 第49期	2020年9月期 第50期
売上高	百万円	1554	1544	1447
従業員	人	134	134	131
床面積	(㎡)	3452.7	3452.7	3452.7
(本社)	(㎡)	874.57	874.57	874.57
(北清リサイクルファクトリー)	(㎡)	1526.04	1526.04	1526.04

6. 情報公開項目

① 法人設立：昭和 46 年 5 月

資本金：3,000 万円

② 組織図



③ 許可の内容（詳細は別紙許可証参照）

札幌市	産業廃棄物収集運搬業
札幌市	産業廃棄物処分業
北海道	産業廃棄物収集運搬業
北海道	特別管理産業廃棄物収集運搬業
札幌市	一般廃棄物収集運搬業許可証（伐採物・抜根等の収集運搬に限定）

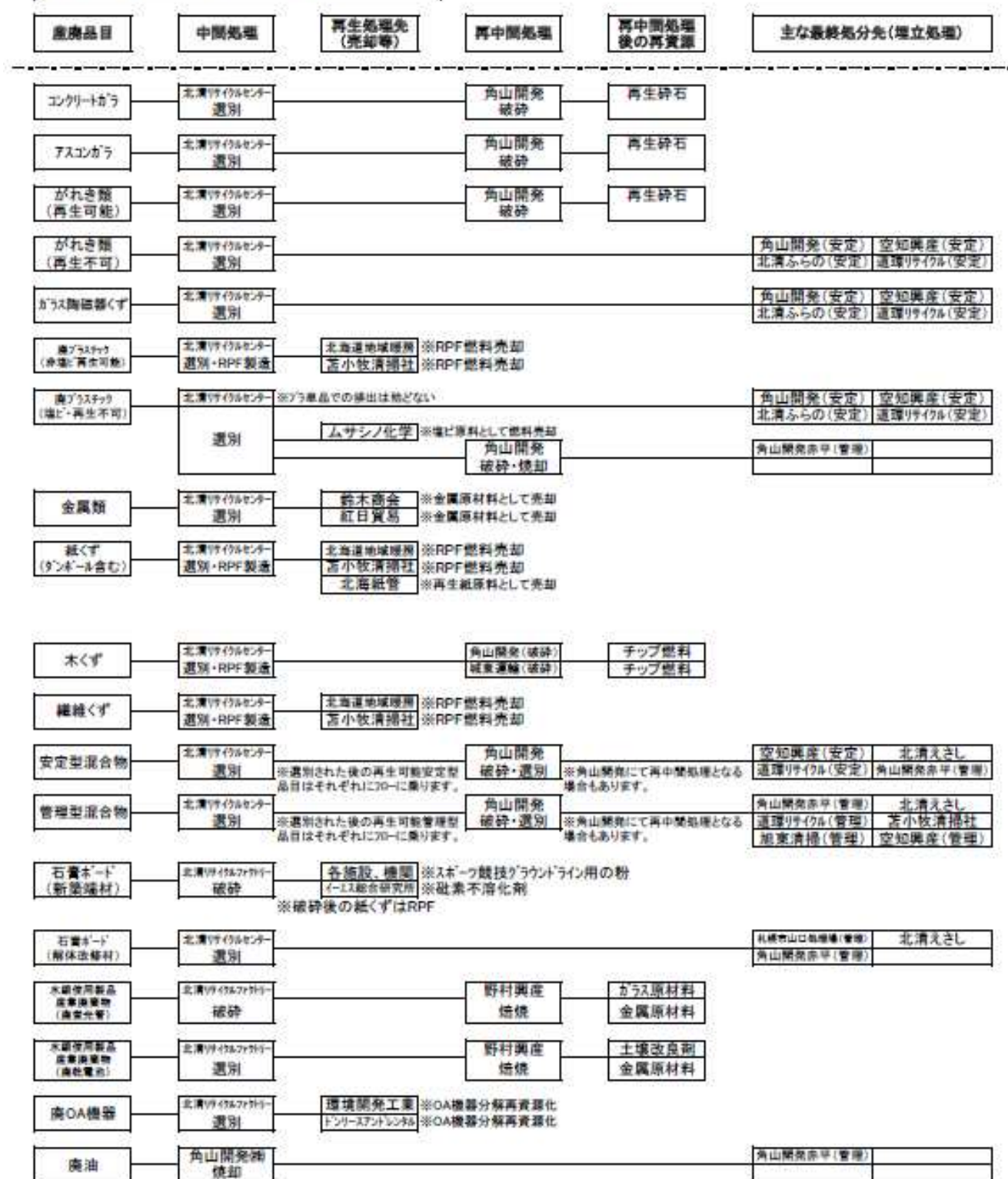
④ 施設の状況

施設名称	施設所在地
北清リサイクルセンター	札幌市北区篠路町拓北 6 番 591、6 番 625
北清リサイクルファクトリー	札幌市東区北丘珠 3 条 4 丁目 1 番 5 号

※詳細は「産業廃棄物処分業許可証」の「2 事業の用に供する施設」を参照

⑤ 産業廃棄物の処理フロー

北清企業㈱ 産業廃棄物処理フロー(主なリサイクルルート)



⑥ 業務使用車両の概要

(1) 産業廃棄物収集運搬車両

	車 両 登 録 番 号	車 体 形 状	最 大 積 載 量	備 考
1	札幌 130 す 53-87	バン	2.00 t	
2	札幌 130 す 50-03	キャブオーバ	6.90 t	
3	札幌 100 は 20-58	ダンプ	5.80 t	
4	札幌 130 や 50-05	ダンプ	7.40 t	
5	札幌 130 さ 53-10	ダンプ	5.70 t	
6	札幌 130 さ 53-21	ダンプ	8.40 t	
7	札幌 130 さ 53-24	ダンプ	9.40 t	
8	札幌 130 さ 53-75	ダンプ	8.40 t	
9	札幌830 さ 53-62	塵芥車	3.45 t	
10	札幌130 さ 53-63	キャブオーバ	4.80 t	
11	札幌 130 さ 53-06	キャブオーバ	10.00 t	
12	札幌 830 さ 53-07	塵芥車	5.10 t	
13	札幌 130 さ 53-25	キャブオーバ	4.35 t	
14	札幌 130 さ 53-30	キャブオーバ	4.25 t	
15	札幌 430す 53-38	脱着装置付コンテナ専用車	2.00 t	
16	札幌 88 た 28-35	塵芥車	3.25 t	
17	札幌 830 さ 53-66	塵芥車	3.20 t	
18	札幌 830 さ 53-76	塵芥車	5.70 t	
19	札幌 800 は 10-35	塵芥車	4.70 t	
20	札幌 800 は 10-63	塵芥車	5.60 t	
21	札幌 400ふ、 34-56	バン	0.40 t	
22	札幌 130 す 53-98	バン	3.20 t	
23	札幌 130 さ 53-05	脱着装置付コンテナ専用車	3.85 t	
24	札幌 130 す 53-13	脱着装置付コンテナ専用車	3.75 t	
25	札幌 130 す 53-18	脱着装置付コンテナ専用車	5.20 t	
26	札幌 130 さ 53-47	キャブオーバ	7.50 t	
27	札幌 130 さ 53-40	脱着装置付コンテナ専用車	11.30 t	
28	札幌 130 す 53-86	ダンプ	11.10 t	
29	札幌 400 め 71-72	キャブオーバ	1.50 t	
30	札幌400ほ 14-36	バン	0.40 t	

(2) 特別管理産業廃棄物収集運搬車両

	車 両 登 録 番 号	車 体 形 状	最 大 積 載 量	備 考
1	札幌130さ53-47	キャブオーバー	7.50 t	
2	札幌100は20-58	ダンプ	5.80 t	
3	札幌130や53-05	ダンプ	7.40 t	
4	札幌130さ53-10	ダンプ	5.70 t	
5	札幌130さ53-21	ダンプ	8.40 t	
6	札幌130さ53-24	ダンプ	9.40 t	
7	札幌130さ53-75	ダンプ	8.40 t	
8	札幌130さ53-06	キャブオーバー	10.00 t	
9	札幌130さ53-17	キャブオーバー	6.70 t	
10	札幌130さ53-25	キャブオーバー	4.35 t	
11	札幌130さ53-30	キャブオーバー	4.25 t	
12	札幌800は10-35	塵芥車 (保管庫付)	4.70 t	
13	札幌130さ53-05	脱着装置付コンテナ専用車	3.85 t	
14	札幌130す53-13	脱着装置付コンテナ専用車	3.75 t	
15	札幌130す53-18	脱着装置付コンテナ専用車	5.20 t	
16	札幌130す50-03	キャブオーバー	6.90 t	
17	札幌130さ53-40	脱着装置付コンテナ専用車	11.30 t	
18	札幌130す53-86	ダンプ	11.10 t	
19	札幌430す53-38	脱着装置付コンテナ専用車	2.00 t	
20	札幌400ぬ71-72	キャブオーバー	1.50 t	
21	札幌130さ53-55	バン	2.00 t	
22	札幌130さ53-56	キャブオーバー	3.45 t	
23	札幌130さ53-61	キャブオーバー	3.15 t	
24	札幌130さ53-63	キャブオーバー	4.80 t	
25	札幌130さ53-64	ダンプ	9.10 t	
26	札幌400ひ58-60	バン	0.90 t	
27	札幌130さ53-71	ダンプ	8.60 t	
28	札幌130す53-87	バン	2.00 t	
29	札幌400は56-28	バン	0.40 t	
30	札幌130さ53-90	脱着装置付コンテナ専用車	3.90 t	

⑦ 処理実績（受託した産業廃棄物の処理実績）

（i）収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
廃プラスチック	t	5,702
金属くず	t	2,395
混合廃棄物	t	3,698
その他（特管物含）	t	4,792
合計	t	16,587

（ii）中間処理

	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量	
中間処理	混合廃棄物	選別	t	10,051	
	廃石膏ボード	選別	t	385	
	廃蛍光管	破碎	t	45	
	廃乾電池	選別	t	23	
	廃OA機器	選別	t	41	
	再資源化等	金属くず	売却	t	1,585
		木くず・紙くず・廃プラ	RPF製造	t	2,873
		紙くず	売却	t	97
		OA機器類	売却	t	2
		小計		t	4,558
合計			t	10,547	

（iii）最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
該当なし		t	0
		t	
		t	
合計		t	0

（iv）中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

産業廃棄物の中間処理後の（再資源化等）	最終処分	廃棄物の種類		処理方法等		単位	処分量等
		管理型混合		埋立 委託		t	735
		安定型混合		埋立 委託		t	2,347
						t	
						t	
	小計					t	3,083
	中間処理	廃棄物の種類		処理方法等		単位	処理量等
		がれき類		碎石		t	855
		木くず		チップ化		t	40
		木くず・紙くず・廃プラ		RPF化		t	32
		管理型混合		再資源化※1		t	1,418
		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず		マテリアルリサイクル		t	408
		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず・金属くず		マテリアルリサイクル		t	47
		金属くず・汚泥		マテリアルリサイクル		t	20
		金属くず		マテリアルリサイクル		t	32
小計					t	2,853	
合計					t	5,936	

※1 機械選別後、再資源化

7. 環境経営レポートの対象期間と発行日

対象期間 令和元年10月1日～令和2年9月30日

発行日 令和3年1月20日

環 境 理 念

当社は「一人は皆のために、皆はひとりのために」という社是のもと廃棄物収集運搬・処理・リサイクル活動を通して地域社会に貢献する会社を目指し、事業活動を展開していく

環境経営方針

1. 事業活動に関わる環境を常に意識し、汚染の防止に努め、健全な環境の維持向上に努める
2. 当社は事業活動を行うにあたり、環境に関する法律・条例・協定を遵守する
3. より良き企業市民として地域社会とのコミュニケーションを図り、地域環境の保全に協力する
4. 環境マネジメントシステムを継続的に向上していくために、環境目的・目標を具体的に定め、定期的な環境監査の実施により、その結果を確認し、見直し、環境管理活動の継続的改善を図る
5. 従業員全員への環境教育を行うことにより、環境保全に対する意識の高揚を図る
6. 緊急事態・事故に備え、環境への影響の予防及び緩和に努める
7. 3 R活動を積極的に推進し、顧客の環境に対する要求事項に応えるべく、社内体制を確立する
8. 地球環境の未来を見据えて、CO₂の排出量削減を行う

尚 この環境方針は全社員に周知する

令和1年10月1日 改訂
北 清 企 業 株 式 会 社
代表取締役社長 高橋 俊一

9. 環境経営目標(3年中期目標を含む)とその実績

今年度の目標とその実績

作成日: 2020年5月20日		北清企業株式会社							
部署	内容	目標	責任者	手段	基準年	平成30年度目標	平成31年度目標	令和2年度目標	備考
本社	二酸化炭素削減	電気使用量	三上総務部長	省エネ手順書	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
		ガソリン使用量	三上総務部長	省エネ手順書	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
		灯油使用量	三上総務部長	省エネ手順書	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
		重油使用量	三上総務部長	3ヶ月に1回の点検と運転方法の見直し	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
	廃棄物削減	一般廃棄物削減	三上総務部長	省エネ手順書	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
		上水使用量	三上総務部長	省エネ手順書	平成29年度	年間42.00㎡	年間42.00㎡	年間42.00㎡	
	総排水量	地下水使用量	三上総務部長	蛇口をこまめに閉める、洗車時にこまめに停止ボタンを押す、(風呂場)シャワー使用の削減、こまめな蛇口管理	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
		グリーン購入	事務用品の100%アスクル購入	三上総務部長	購入時の窓口を総務へ一本化する	平成29年度	現状維持	現状維持	100%達成済み
(収集運搬部)	二酸化炭素削減	軽油使用量	三吉業務係長	日本建設業連合会手順書	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
	二酸化炭素削減	法定点検	三吉業務係長	点検日程管理簿作成と確認	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	100%達成済み
ファクトリー/リサイクルセンター	二酸化炭素削減	電気使用量	穴戸業務係長	必要箇所のみ点灯、昼休消灯・プラントの電源OFF	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
		灯油使用量	穴戸業務係長	こまめな温度管理	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
		軽油使用量	穴戸業務係長	運用手順書(重機)	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
	総排水量	水道使用量	穴戸業務係長	こまめに蛇口の開け閉め	平成29年度	現状維持	現状維持	現状維持	
	受託した産業廃棄物への環境配慮/廃棄物削減	RPFの販売量維持	穴戸業務係長	原材料(廃プラ・木・紙)確保のため、新規取引先及び新規搬入業者の開拓	平成29年度	年間2,400t	年間2,400t	年間2,400t	
	*プロパンガス使用量は極端に使用量が少ないため、目標は設定しないが、省エネ手順書に従う。								

※環境経営活動計画は上記環境経営目標設定書の手段に準じて行う。

令和元 年度 環境経営活動計画書及び実施状況・評価

(第50期 2019年10月から2020年9月まで)

代表者	環境管理責任者	環境事務局

部署	環境方針	目標	スケジュール												総 括	
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
本社	地球温暖化防止 (二酸化炭素削減)	電気使用量 現状維持	評価	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	△	手順に従い、使用量の削減を図ったが結果対前年5.4%増加【対前年+2,879kwh】	
		期間中増加【+1,287kwh】 ボイラー稼働時間の増加、補助暖房使用の為。	期間中増加【+2,160kwh】 ボイラー稼働時間の増加、補助暖房使用の為。	期間中増加【+138kwh】	期間中減少【▲706kwh】											
		ガソリン使用量 現状維持	評価	○	◎	△	○	×	×	△	○	×	◎	△	×	手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年2.1%減少【対前年▲229.74t】
		期間中減少【▲463.9t】	期間中増加【+299.64t】	期間中減少【▲146.85t】	期間中増加【+81.37t】											
	重油使用量 現状維持	評価	◎	×	◎	◎	△	△	△	◎	△	×	△	◎	手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年11.1%減少【対前年▲3,000t】	
	期間中減少【▲2,000t】	期間中減少【▲3,000t】	期間中減少【▲1,000t】	期間中増減なし												
	灯油使用量 現状維持	評価	○	×	×	○	◎	◎	△						手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年3.9%増加【対前年+310t】	
	期間中増加【+956.0t】 ロードヒーティング早期使用、頻度増加の為。	期間中減少【▲469.0t】	期間中わずかに増加【+22t】	使用実績なし												
	総排水量	上水使用量 年間4200m ³	評価	○	○	○	○	△	×	○	○	○	◎	○	○	手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年2.4%減少【対前年▲1,000m ³ 】
		期間中増減なし	期間中増加【+1,000m ³ 】	期間中増減なし	期間中減少【▲2,000m ³ 】											
		地下水使用量 現状維持	評価	×	○	◎	×	×	×	×	◎	◎	△	×	◎	手順に従い、使用量の削減を図ったが結果対前年1.7%増加【対前年+94.60m ³ 】
		期間中減少【▲15.3m ³ 】	期間中増加【+235.4m ³ 】 洗濯機の凍結防止で水を出し続けていた。コロナの影響で浴室の使用率が一時的に増えた為。	期間中減少【▲120.7m ³ 】	期間中減少【▲4.8m ³ 】											
	廃棄物削減	一般廃棄物排出量 現状維持	評価	×	△	×	×	○	◎	△	◎	×	◎	◎	◎	手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年0.04%減少【対前年+0.02m ³ 】
		期間中増加【+1.42m ³ 】 不要物の見直し、事務職員残業時間増加の為。	期間中わずかに増加【+0.22m ³ 】	期間中わずかに増加【+0.02m ³ 】	期間中減少【▲1.68m ³ 】											
	グリーン購入	事務用品のアスクリ100%購入 現状維持	評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	グリーン購入品を使用している。
		目標達成	目標達成	目標達成	目標達成											
収集運搬部 (業務)	二酸化炭素削減	軽油使用量 基準年度比▲15%	評価	○	◎	◎	◎	○	×	◎	◎	◎	×	◎	×	手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年2.6%減少【対前年▲20,233t】
		期間中減少【▲8,704t】	期間中減少【▲2,238t】	期間中減少【▲16,167t】	期間中増加【+6,877t】 廃棄物収集量増加の為。											
	法令点検100%実施 現状維持	評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	法令点検100%実施	
	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成												
ファクトリー/ リサイクルセンター	地球温暖化防止 (二酸化炭素削減)	電気使用量 現状維持	評価	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	×	×	×	手順に従い、使用量の削減を図ったが結果対前年12.0%増加【対前年+78,940kwh】
		期間中増加【+50,856kwh】 搬入量増加、RPF製造機の稼働時間増加の為。	期間中増加【+22,702kwh】 RPF製造機の稼働時間増加の為。	期間中減少【▲9,112kwh】	期間中増加【+14,194kwh】 搬入量増加の為。											
		灯油使用量 基準年度比▲15%	評価	×	◎	△	×	◎	◎	◎						手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年8.7%減少【対前年▲928.0t】
	期間中増加【+275.4t】	期間中減少【▲848.3t】	期間中減少【▲355.1t】	使用実績なし												
	軽油使用量 現状維持	評価	×	○	△	◎	○	×	×	◎	◎	×	△	×	手順に従い、使用量の削減を図ったが結果対前年7.6%増加【対前年+3349.8t】	
	期間中増加【+1128.0t】 搬入量増加の為。	期間中減少【▲573.7t】	期間中減少【▲176.0t】	期間中増加【+2971.5t】 搬入量増加の為。												
	総排水量	水道使用量 現状維持	評価	◎	◎	×	×	○	◎	×	◎	◎	×	×	◎	手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年3.7%減少【対前年▲24.7t】
期間中増加【+3.2m ³ 】		期間中減少【▲8.2m ³ 】	期間中減少【▲13.0m ³ 】	期間中減少【▲6.7m ³ 】												
	RPFの販売量増 年間目標2400t	評価	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	×	△	◎	×	手順に従い、使用量の削減を図った結果対前年5.5%増加【対前年154.9t】	
期間中増加【+191.1t】	期間中増加【+74.3t】	期間中減少【▲77.0t】	期間中減少【▲33.5t】													

- ・ 評価 非常によくできた=◎ 概ねできた=○ まずまず=△ あまりできなかった=×
- ・ 3ヶ月ごとに自己評価する
- ・ 年度終了後に1年の評価(総括)を行う

環境経営目標監視表				(期間: 2019年10月から2020年9月まで)																											
部署	内容	目標	責任者	単位	年度	10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月			
						当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計
本社	電気使用量	三上総務部長	kwh	当年	4,434	4,434	4,908	9,342	5,651	14,993	5,652	20,645	5,157	25,802	5,527	31,329	4,571	35,900	3,684	39,584	3,625	43,209	4,017	47,226	4,810	52,036	4,063	56,099			
				前年	4,221	4,221	4,537	8,758	4,944	13,704	4,809	18,513	4,474	22,989	4,893	27,882	4,225	32,107	3,901	36,008	3,616	39,624	4,344	43,970	5,065	49,035	4,165	53,200			
				増減	213	213	371	584	707	1,289	843	2,130	683	2,813	634	3,447	346	3,793	△ 217	3,576	9	3,585	△ 309	3,256	△ 275	2,961	△ 100	2,876			
	ガソリン使用量	三上総務部長	ℓ	当年	890.57	890.57	805.34	1,695.92	1,044.92	2,740.85	922.24	3,663.09	971.59	4,634.68	944.84	5,579.32	940.71	6,420.03	585.48	7,009.51	832.15	7,837.66	784.49	8,622.15	881.44	9,483.59	1,008.91	10,492.50			
				前年	1,011.46	1,011.46	1,134.15	2,145.61	1,089.14	3,204.75	1,012.32	4,217.07	827.08	5,046.15	699.43	5,763.58	833.85	6,597.43	738.17	7,333.60	813.17	8,146.77	990.72	9,134.89	876.69	10,016.18	706.06	10,722.24			
				増減	△ 120.89	△ 121	△ 328.79	△ 449.69	△ 142.22	△ 463.86	△ 90.08	△ 553.89	144.51	△ 408.47	245.21	△ 142.86	△ 134	△ 177.40	△ 152.69	△ 330.09	18.98	△ 311.11	△ 208.22	△ 517.34	△ 15.25	△ 532.98	302.85	△ 229.74			
	重油使用量	三上総務部長	ℓ	当年	1,000	1,000	3,000	4,000	3,000	7,000	3,000	10,000	3,000	13,000	3,000	16,000	3,000	19,000	1,000	20,000	1,000	21,000	1,000	22,000	1,000	23,000	1,000	24,000			
				前年	2,000	2,000	2,000	4,000	4,000	6,000	4,000	12,000	3,000	15,000	3,000	18,000	2,000	20,000	2,000	22,000	1,000	23,000	1,000	24,000	1,000	25,000	2,000	27,000			
				増減	△ 1,000	△ 1,000	1,000	0	△ 1,000	△ 1,000	△ 1,000	△ 1,000	0	△ 2,000	0	△ 2,000	0	△ 2,000	0	△ 2,000	△ 1,000	△ 1,000	0	△ 1,000	1,000	△ 1,000	0	△ 1,000	△ 1,000	△ 1,000	
	灯油使用量	三上総務部長	ℓ	当年	0	0	809	809	2,078	2,887	2,309	5,192	2,081	7,273	386	7,659	181	8,039	0	8,039	0	8,039	0	8,039	0	8,039	0	8,039			
				前年	0	0	143	143	1,788	1,931	2,369	4,300	2,261	6,561	809	7,370	159	7,530	0	7,530	0	7,530	0	7,530	200	7,730	0	7,730			
				増減	0	0	666	666	290	956	△ 84	892	△ 181	712	△ 224	485	22	510	0	510	0	510	0	510	0	510	△ 200	310	0	310	
	廃棄物削減	一般廃棄物削減	三上総務部長	mt	当年	5.08	5.08	4.04	9.12	4.18	13.30	4.32	17.62	3.30	20.92	3.48	24.40	4.80	29.20	3.94	33.14	4.20	37.34	4.40	41.74	3.60	45.34	3.82	49.16		
					前年	4.20	4.20	3.98	8.18	3.70	11.88	3.38	15.26	3.36	18.62	4.14	22.76	4.74	27.50	4.42	31.92	3.76	35.68	4.92	40.60	4.00	44.60	4.58	49.18		
					増減	0.88	0.88	0.06	0.94	0.42	1.42	0.94	2.36	△ 0.06	2.30	△ 0.66	1.64	0.06	1.70	△ 0.46	1.22	0.44	1.66	△ 0.52	1.14	△ 0.40	0.74	△ 0.76	△ 0.02		
総排水量	上水使用量	三上総務部長	mt	当年	0.00	0.00	6.00	6.00	0.00	6.00	7.00	13.00	0.00	13.00	8.00	21.00	0.00	21.00	8.00	29.00	0.00	29.00	5.00	34.00	0.00	34.00	6.00	40.00			
				前年	0.00	0.00	6.00	6.00	0.00	6.00	7.00	13.00	0.00	13.00	7.00	20.00	0.00	20.00	8.00	28.00	0.00	28.00	7.00	35.00	0.00	35.00	6.00	41.00			
				増減	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	△ 1.00	0.00	△ 1.00	0.00	△ 1.00	
地下水使用量	三上総務部長	mt	当年	524.70	524.70	503.20	1,027.90	436.50	1,464.40	417.00	2,081.40	550.10	2,631.50	570.40	3,201.90	445.20	3,647.10	189.70	3,836.80	358.80	4,195.60	398.00	4,593.60	368.00	4,961.60	431.00	5,393.60				
			前年	457.90	457.90	504.40	962.30	517.40	1,479.70	491.40	1,971.10	485.10	2,456.20	525.60	2,981.80	342.50	3,324.30	399.80	3,724.10	372.10	4,096.20	395.30	4,491.50	340.10	4,831.60	437.10	5,268.70				
			増減	66.80	67	△ 120	65.80	△ 90.90	△ 113.30	125.90	110.30	65.00	175.30	44.80	220.10	102.70	322.80	△ 210.10	112.70	△ 13.30	99.40	2.70	102.10	27.90	130.00	△ 35.40	94.80				
ファクトリー / リサイクルセンター / 販売業務	グリーン購入率	社用車燃料も含める エネルギーの削減率100%の達成	三上総務部長		当年	63.87	63.87	61.70	125.51	65.01	191.12	57.42	248.80	61.46	310.08	65.49	375.56	55.40	431.02	55.40	486.47	55.76	542.06	65.762	607.823	55.513	663.338	67.408	730.744		
					前年	64.31	64.31	65.64	129.96	66.89	199.82	63.61	253.43	61.570	325.013	61.49	385.003	61.598	448.089	61.533	509.624	55.939	565.172	63.832	633.005	55.730	692.735	58.244	750.979		
					増減	△ 0.40	△ 0.40	△ 3.94	△ 4.44	△ 2.39	△ 6.703	△ 6.193	△ 14.841	△ 1.04	△ 14.943	4.004	△ 10.941	△ 1.145	△ 17.088	△ 6.066	△ 23.147	△ 9.682	△ 27.108	1.930	△ 25.178	△ 4.217	△ 29.396	5.164	△ 20.395		
	電気使用量 ファクトリー	矢戸業務係長	kwh	当年	2,630	2,630	3,010	5,640	2,354	7,994	3,490	11,484	2,722	14,206	2,794	17,000	2,398	19,398	2,093	21,491	2,078	23,569	2,033	25,602	2,033	27,635	1,754	29,389			
				前年	2,273	2,273	2,254	4,527	2,304	6,833	2,868	9,701	2,506	12,207	2,458	14,665	1,831	16,496	2,712	19,208	2,565	21,793	2,717	24,510	2,570	27,080	2,359	29,439			
				増減	357	357	756	1,113	46	1,161	622	1,783	216	1,999	336	2,335	567	2,902	△ 618	2,283	△ 507	1,776	△ 684	1,092	△ 537	585	△ 605	△ 580			
	電気使用量 リサイクルセンター	矢戸業務係長	kwh	当年	72,980	72,980	63,254	136,214	72,497	208,711	56,166	264,877	51,748	316,629	54,442	371,077	59,835	430,902	42,470	473,372	52,008	525,580	61,398	586,978	55,693	642,671	60,409	703,080			
				前年	57,367	57,367	61,627	118,994	60,022	159,016	52,533	211,549	41,274	252,823	47,021	299,844	57,179	357,023	50,109	407,132	55,778	482,910	58,139	521,049	47,243	568,292	55,798	624,090			
				増減	15,613	15,613	21,627	37,220	12,475	49,695	3,633	53,328	10,474	63,802	7,421	71,233	2,556	73,879	△ 7,639	66,240	△ 3,770	62,670	3,259	65,929	8,450	74,378	4,611	78,990			
	灯油使用量 ファクトリー	矢戸業務係長	ℓ	当年	387.8	387.8	978.8	1,364.6	1,835.5	3,000.1	2,088.4	5,088.5	1,740.2	6,828.7	1,139.2	7,977.9	468.6	8,446.5	333.6	8,790.1	158.6	8,939.7	0.0	8,939.7	0.0	8,939.7	0.0	8,939.7			
				前年	0.0	0.0	1,164.4	1,164.4	1,575.6	2,740.0	1,644.4	4,204.4	2,455.8	6,660.0	1,963.4	8,623.4	780.2	9,403.6	535.7	9,939.3	0.0	9,939.3	0.0	9,939.3	0.0	9,939.3	0.0	9,939.3			
				増減	387.8	388	△ 185.6	200.2	59.5	259.6	1,044.0	594.1	△ 715.4	1,781	△ 523.2	△ 645.3	△ 311.6	△ 557.1	△ 302.1	△ 1,182.2	158.6	△ 1,000.0	0.0	△ 1,000.0	0.0	△ 1,000.0	0.0	△ 1,000.0			
	地下水使用量 リサイクルセンター	矢戸業務係長	ℓ	当年	0.0	0.0	171.2	171.2	181.9	353.1	188.0	521.1	191.4	712.5	89.7	782.2	0.0	782.2	0.0	782.2	0.0	782.2	0.0	782.2	0.0	782.2	0.0	782.2			
				前年	0.0	0.0	178.8	178.8	159.0	337.8	166.4	494.4	126.9	621.3	88.2	709.5	0.0	709.5	0.0	709.5	0.0	709.5	0.0	709.5	0.0	709.5	0.0	709.5			
				増減	0.0	0	△ 7.6	△ 7.6	22.9	15.3	11	15.7	△ 16.4	6.4	10.5	10.2	△ 18.3	72.6	0.0	72.6	0.0	72.6	0.0	72.6	0.0	72.6	0.0	72.6			
軽油使用量 リサイクルセンター	矢戸業務係長		当年	5,062.9	5,062.9	3,826.0	8,888.0	4,370.0	13,761.0	3,059.0	16,820.0	3,434.0	20,254.0	3,988.0	24,242.0	4,768.0	29,010.0	2,706.0	31,716.0	3,148.0	34,864.0	4,487.3	39,351.3	3,313.0	42,654.2	4,527.7	47,091.3				
			前年	3,912.8	3,912.8	3,888.0	7,800.0	4,833.0	12,633.0	3,764.0	16,417.0	3,497.0	19,914.0	3,773.7	23,687.7	4,024.0	27,711.7	3,202.0	30,913.7	3,572.0	34,485.7	2,481.0	36,966.7	3,078.0	40,045.5	3,696.0	43,741.5				
			増減	1,150.0	1,150	△ 1,062.0	1,088.0	40.0	1,128.0	△ 725.0	403.0	△ 618.0	340.0	214.3	553.7	744.0	△ 1,298.3	△ 699.0	△ 424.0	△ 424.0	739.3	2,006.3	2,384.4	134.2	2,014.8	831.0	3,748.0				
総排水量	地下水使用量 ファクトリー	矢戸業務係長	mt	当年	47.1	47.1	49.8	96.9	41.1	138.6	51.2	189.2	38.9	228.1	34.3	292.4	38.1	300.7	36.8	337.5	42.8	380.2	46.2	426.0	45.6	466.1	28.8	504.4			
				前年	55.9	55.9	52.3	108.1	51.7	160.8	42.8	203.6	38.9	242.2	50.4	293.6	39.2	322.9	47.8	380.7	47.8	428.3	35.5	463.8	41.1	504.9	51.2	556.1			
				増減	△ 8.7	△ 9	△ 2.5	△ 11.2	△ 12.6	△ 22.8	8.4	△ 144	△ 6.7	△ 15.1	△ 15.8	△ 31.0	△ 12.5	△ 32.2	△ 11.6	△ 42.2	△ 47.8	△ 42.3	△ 47.8	△ 42.3	△ 47.8	△ 38.8	△ 129	△ 31.7			
上水使用量 リサイクルセンター (散水用)	矢戸業務係長	mt	当年	14.0	14.0	0.0	14.0																								

令和元年度 取組評価と次年度取組			
		今年度評価	次年度取組
本社	電気使用量	【対基準年▲2.5% 対前年+5.4%】 活動計画目標達成	
		基準年に対して目標達成。コロナ対策として加湿器の設置、換気による寒さ対策として各自暖房機器を使用した等の理由で前年に対して使用量が増加した。今年度は総務室のLED化、電気の手元管理（席を離れる際各自で電気を消す等こまめな節電への取組み）を新たに行った。	夏季の冷房は室内温度を26℃を目安とし、使用していない部屋は冷房を止める。冬季に使用量が増加していることから、コロナ対策としての換気時間と室温管理を適正に管理し節電に取組むとともに今年度に重点的に行った電気の手元管理を引き続き実践していく。
	ガソリン使用量	【対基準年▲31.4% 対前年▲2.1%】 活動計画目標達成	
		基準年・前年に対してともに目標達成。自社顧客双方のコロナ対策として営業担当者が見積等がFAX、メールで対応することが増えた事も要因としてある。全体としては急発進、空ふかしなど抑制によるエコドライブ、アイドリングストップを継続して実践した。	冬季のエンジンのかけっぱなしに特に注意をし、急発進、空ふかし等の抑制によるエコドライブに引き続き取り組んでいく。
	重油使用量	【対基準年▲17.2% 対前年▲11.1%】 活動計画目標達成	
		基準年・前年に対してともに目標達成。浴場の節水・冬季の気温が高い日のバルブ開閉による調整をこまめに行った結果使用量が減少した。道の緊急事態宣言中の4月下旬から5月にかけて浴場の使用を停止したことも要因としてある。	電気使用量での次年度取組と同様にボイラー室内バルブ開閉による社屋内暖房温度の調節と換気の両立に取り組んでいく。
	灯油使用量	【対基準年+1.2% 対前年+3.9%】 活動計画目標未達成	
		基準年・前年に対してともに目標未達成。11月から12月にかけては前年よりロードヒーティングの稼働日が早く稼働時間も長かったことや洗車町車両の混雑緩和の為、温水洗車機を1台増やして稼働していたことで使用量が増加した。	翌日の気温を考慮し、高くなりそうであればロードヒーティングの電源を落とす等の取組みを実践したことで今年度1月から3月の使用量は減少することができた。この取組みを次年度も引き続き行っていく。
	上水使用量	【対基準年▲4.7% 対前年▲2.4%】 活動計画目標達成	
		基準年・前年に対してともに目標達成。12月に社内コーヒーマシンの入替をし1杯あたりの抽出量が少なくなったこと、洗い物が少なかったこと、引き続き節水に取り組んだことで使用量が減少した。	今年度と同様に引き続き節水に取り組む。
	地下水使用量	【対基準年▲0.5% 対前年+1.7%】 活動計画目標達成	
		基準年に対して目標達成。収集車両の新車納入の際車両管理の徹底を社内掲示したことで洗車時間が全体的に増加した。一方で夏季に適度な頻度で降雨があったため敷地内アスファルトへの水まきの頻度が減った。浴室・社屋内外の蛇口使用時の節水を引き続き取り組んだ。	洗車の効率化、無駄に水を出し続けることのない様周知する。また、浴室・社屋内外の蛇口使用については引き続き節水に取り組んでいく。
	一般廃棄物 排出量	【対基準年▲13.4% 対前年▲0.04%】 活動計画目標達成	
		基準年・前年に対してともに目標達成。廃棄物の分別、裏紙の再利用を徹底して取り組んだ。	今年度と同様に分別・裏紙の再利用を行い排出量削減に取り組んでいく。
	グリーン購入	活動計画目標達成	
		目標達成。グリーン購入品を使用している。	引き続きグリーン購入品を使用していく。

収集運搬	軽油使用量	【対基準年▲4.6% 対前年▲2.6%】 活動計画目標達成	
		基準年・前年に対してともに目標達成。コロナの影響ではごみ量の減少による燃費の向上、車両稼働台数の減少、遠方収集の減少があった。また、前年度より引き続きアイドリングを最小限に実施するよう取り組んだ。	次年度では収集コース見直しによる減車を1台予定しておりその分の使用量減少を見込んでいる。他の車両も一部配車の段階で収集ルート効率化を行っていく。他の取り組みとしては引き続きアイドリングを最小限にとどめるようにしていく。
収集運搬	法令点検100%実施	活動計画目標達成	
		目標達成。点検は北海道特殊自販(株)に依頼しており、スケジュールを調整して実施した。	スケジュール調整をし、引き続き法令点検100%を実施していく。
リサイクルファクトリー/リサイクルセンター	電気使用量	【対基準年+18.0% 対前年+12.0%】 活動計画目標未達成	
		基準年・前年に対してともに目標未達成。処分費低減の為に時差出勤を行い選別・固形燃料機械の稼働時間が延び使用量が増加した(リサイクルセンター)。使用箇所のみ電気をつける等のこまめな取組みで対基準年・前年ともに減少している(リサイクルファクトリー)。	固形燃料機械を立ち上げる時に電力消費が多くなることから、始動・停止のタイミング等を見極めて稼働していく。リサイクルセンター・リサイクルファクトリーともに休憩室不使用時の電気の消灯などこまめな取組みを継続していく。
	灯油使用量	【対基準年▲33.2% 対前年▲8.7%】 活動計画目標達成	
		基準年・前年に対してともに目標達成。比較的暖冬であったため前年と比較しても使用量は少なかった。前年に引き続き休憩室の不使用時に暖房器具の使用を抑える取組みを継続して行った。	今年度と同様に休憩室不使用時の暖房器具の使用を抑える、消し忘れを防止する取組みを継続していく。
	軽油使用量	【対基準年+10.7% 対前年+7.6%】 活動計画目標未達成	
		基準年・前年に対してともに目標未達成。電気使用量と同じく選別時の重機稼働時間が延びた為使用量が増加した。4月から5月は道の緊急事態宣言を受け搬入される廃棄物量が減少し、それに伴って軽油使用量も減少した。	搬入量の増加に伴い選別量も増加し軽油使用量も増加する。重機のアイドリングを抑える、使用していない時のエンジン停止を都度確認し取り組んでいく。
	水道使用量	【対基準年+24.3% 対前年▲3.7%】 活動計画目標未達成	
		基準年に対して目標未達成。散水作業時の節水を前年に引き続き取り組んだ。	引き続き散水作業時の節水を継続して取り組んでいく。
	RPFの販売量	【対基準年+18.8% 対前年+5.5%】 活動計画目標達成	
		基準年・前年に対してともに目標達成。時差出勤を行い稼働時間を増やした結果対前年で154.9tの販売量増加となった。	年間目標2,400tに達する様、引き続き効率的に生産を行っていく。

10. 主要な環境経営活動計画(環境への取組)の内容

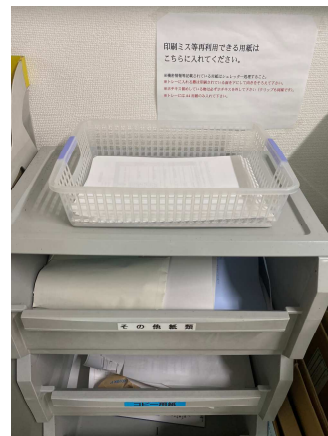
環境経営活動の取り組み事例

① ごみ拾い活動（定期）

（活動範囲：札幌丘珠鉄工団地内・社屋周辺）



② 廃棄物の分別・裏紙の再利用



③ 照明の手元管理（節電）



④総務室照明の LED 化



1 1. 環境関連法規等の違反及び環境に関する苦情・訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下記の通りです。
 関連する法規制の遵守状況確認を年2回実施しており違反はありませんでした。
 また、地域住民からのクレームはありませんでした。

主な適用法規	当社の対応	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適正処理 許可更新の期日厳守 委託契約書締結、要件確認、保存 管理表の適正な交付・回付 飛散防止 粉塵防止 実績報告	遵守確認済み
消防法	消防設備の点検と報告 地下タンクの点検と報告 基準ざいご管理	遵守確認済み
フロン類使用の合理化及び管理の適正に関する法律	回収に関する基準を順守 第一種特定製品の点検整備記録	遵守確認済み
道路運送車両法	騒音防止 定期点検	遵守確認済み
計量法	正確な計量 定期検査の実施	遵守確認済み

1 2. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営方針の改訂は	ありません。
環境経営目標の変更は	ありません。
環境経営活動計画の変更は	ありません。
環境経営システムの変更は	ありません。

許可番号第05110004495号

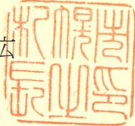
産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 札幌市東区北丘珠5条4丁目5番7号
名 称 北清企業 株式会社
代表取締役 川井 雄一



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証します。

札幌市長 秋 元 克 広



許可の年月日 平成28年 5月15日
許可の有効年月日 平成35年 5月14日

1 事業の範囲（一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

(1) 産業廃棄物の種類

- | | |
|--------------------------------------|--|
| ア 燃え殻 | ケ 繊維くず（ <small>（繊維されているものに限る）</small> |
| イ 汚泥 | コ 動植物性残さ（ <small>（繊維されているものに限る）</small> |
| ウ 廃油 | サ ゴムくず |
| エ 廃酸 | シ 金属くず |
| オ 廃アルカリ | ス ガラスくず、コンクリートくず（ <small>（物類、
繊維、結晶、生じの粉）及び陶磁器くず</small> |
| カ 廃プラスチック類 | セ 鋳さい |
| キ 紙くず（ <small>（繊維されているものに限る）</small> | ソ かけき類 |
| ク 木くず（ <small>（繊維されているものに限る）</small> | |

以上15種類は石綿含有産業廃棄物であるもの、水銀使用製品産業廃棄物であるもの及び水銀含有ばいじん等であることを含む。

(2) 積替え又は保管の有無 あり

上記(1)カ、シ、ス

以上3種類は廃家電品（石綿含有産業廃棄物であるもの、水銀使用製品産業廃棄物であるもの及び水銀含有ばいじん等であるものを除く。）に限る。

2 積替え又は保管に関する事項

場所	面積	保管上限	高さ	産業廃棄物の種類
東区北丘珠5条4丁目5番7号	11.25㎡	16.8㎡	1.5m	上記1(2)に同じ。

3 許可の条件 なし

4 許可の更新又は変更の状況

- 昭和48年 6月27日 新規許可
昭和62年 5月15日 期限付許可
平成 6年 5月15日 更新許可
平成11年 5月15日 更新許可
平成12年12月 5日 変更許可（上記1(1)のウ、エ、オ、サの追加、及び2)のカ、スの積替え又は保管の追加）
平成16年 5月15日 更新許可
平成21年 5月15日 更新許可
平成28年 5月15日 更新許可（更新時優良認定）
平成29年 5月 1日 事業の一部廃止届（廃タイヤ（上記1(1)のカ、シ）の積替え又は保管の廃止）
平成29年 9月29日 事業の一部廃止届（廃乾電池（上記1(1)のイ、シ）、廃OA機器（上記1(1)カ、シ、ス）、廃蛍光管（上記1(1)シ、ス）の積替え又は保管の廃止）

5 規則第9条の2第5項の規定による許可証の提出の有無 なし

○紙くず

- ・ 建設業に係るもの（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものに限る。）
- ・ パルプ、紙又は紙加工品の製造業に係るもの。
- ・ 新聞業（新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うものに限る。）に係るもの。
- ・ 出版業（印刷出版を行うものに限る。）に係るもの。
- ・ 製本業及び印刷物加工業に係るもの。

○木くず

- ・ 建設業に係るもの（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものに限る。）
- ・ 木材又は木製品の製造業（家具の製造業を含む。）に係るもの。
- ・ パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品賃貸業に係るもの。
- ・ 貨物の流通のために使用したパレット（パレットへの貨物の積付けのために使用した梱包用の木材を含む。）に係るもの（業種限定なし）

○繊維くず

- ・ 建設業に係るもの（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものに限る。）
- ・ 繊維工業（衣服その他の繊維製品製造業を除く。）に係るもの。

○動植物性残さ

食料品製造業、医薬品製造業又は香料製造業において原料として使用した動物又は植物に係る固形状の不要物。

書換交付

平成29年10月17日

事由

積替え又は保管に関する事項の変更及び水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等に関する事項の追記

※ この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、北海道知事に対して審査請求をすることができます。

また、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内（適法な審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内）に、札幌市（訴訟において札幌市を代表する者は札幌市長となります。）を被告として、処分の取消しの訴えを提起することもできます。

(表面)

許可番号第05120004495号

産業廃棄物処分業許可証

優良

住 所 札幌市東区北丘珠5条4丁目5番7号
名 称 北清企業 株式会社
代表取締役 川井 雄一

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証します。

札幌市長 秋 元 克 広

許可の年月日 令和 3年 2月 1日
許可の有効年月日 令和 10年 1月 31日

1 事業の範囲（一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

(1) 選別（混合廃棄物（廃OA機器又はこれに類するものを除く。）に限る。）

- | | |
|--|--------------|
| ア 廃プラスチック類 | カ 金属くず |
| イ 紙くず（裏面に記載されているものに限る。） | キ がれき類 |
| ウ 木くず（裏面に記載されているものに限る。） | ク ゴムくず |
| エ 繊維くず（裏面に記載されているものに限る。） | ケ 廃油（防水材に限る） |
| オ ガラスくず、コンクリートくず（珪藻土、珪酸塩、珪酸塩化合物、珪酸塩化合物の混合物）及び陶磁器くず | |

以上9種類は水銀使用製品産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物であるものを含む。

(2) RPF製造（(1)で選別したものに限る。）

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ア 廃プラスチック類 | ウ 木くず（裏面に記載されているものに限る。） |
| イ 紙くず（裏面に記載されているものに限る。） | エ 繊維くず（裏面に記載されているものに限る。） |
- 以上4種類は石綿含有産業廃棄物であるもの及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。

(3) 破碎（(1)で選別したものに限る。）

- ア 廃プラスチック類
- イ 木くず（裏面に記載されているものに限る。）
- 以上2種類は石綿含有産業廃棄物であるもの及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。

(4) 選別（廃石膏ボードに限る。）

- ア 紙くず（裏面に記載されているものに限る。）
- イ ガラスくず、コンクリートくず（珪藻土、珪酸塩、珪酸塩化合物、珪酸塩化合物の混合物）及び陶磁器くず
- 以上2種類は石綿含有産業廃棄物であるもの及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。

(5) 破碎（(4)で選別した廃石膏ボードに限る。）

- ア 紙くず（裏面に記載されているものに限る。）
- イ ガラスくず、コンクリートくず（珪藻土、珪酸塩、珪酸塩化合物、珪酸塩化合物の混合物）及び陶磁器くず
- 以上2種類は石綿含有産業廃棄物であるもの及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。

(6) 破碎（廃蛍光管に限る。）

- ア 金属くず
- イ ガラスくず、コンクリートくず（珪藻土、珪酸塩、珪酸塩化合物、珪酸塩化合物の混合物）及び陶磁器くず
- 以上2種類は石綿含有産業廃棄物であるものを除き、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。

(7) 選別（廃乾電池、廃OA機器又はこれに類する機器、自転車、オフィスから排出される事務用品類に限る。）

- | | | |
|------------|--|--------|
| ア 汚泥 | ウ 金属くず | オ ゴムくず |
| イ 廃プラスチック類 | エ ガラスくず、コンクリートくず（珪藻土、珪酸塩、珪酸塩化合物、珪酸塩化合物の混合物）及び陶磁器くず | |
- 以上5種類は石綿含有産業廃棄物であるもの及び水銀含有（びいじん）等であるものを除き、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。

(裏面につづく)

(裏面)

2 事業の用に供する施設

種 類	設置場所	設置年月日	処理能力	産業廃棄物処理施設	
				許可年月日	許可番号
(1)選別	北区篠路	平成 10 年 11 月 1 日	51.07 t/日		
(2)RPF 製造	町拓北 6 番	平成 24 年 11 月 1 日	16.6 t/日		
(3)破碎	591、6 番 625	平成 24 年 11 月 1 日	15.2 t/日(廃プラ) 24.2 t/日(木くず)	平成 24 年 6 月 19 日	札事産施許可 第 12-01 号
(4)選別	東区北丘 珠 3 条 4 丁 目 1 番 5 号	令和 元年 6 月 11 日	45 m ³ /日		
(5)破碎		平成 15 年 2 月 15 日	45 m ³ /日		
(6)破碎		平成 17 年 10 月 25 日	6.0 t/日		
(7)選別		平成 17 年 10 月 25 日	15 m ³ /日		

3 許可の条件
なし

4 許可の更新又は変更の状況

平成 11 年 1 月 13 日	新規許可	平成 31 年 1 月 13 日	更新許可
平成 15 年 2 月 28 日	変更許可 (上記 1 (5) の追加)	令和 元年 7 月 19 日	変更許可 (上記 1 (4) の追加)
平成 16 年 1 月 13 日	更新許可	令和 元年 11 月 20 日	変更許可 (上記 1 (1) のク、ケ及び 1 (7) のオの追加)
平成 18 年 3 月 8 日	変更許可 (上記 1 (6)、(7) 及び廃 プラスチック類の破碎施設 (記憶 媒体の減容に限る。) の追加)	令和 3 年 2 月 1 日	更新許可 (優良認定の付与)
平成 21 年 1 月 13 日	更新許可		
平成 24 年 12 月 20 日	変更許可 (上記 1 (2)、(3) の追加)		
平成 26 年 1 月 13 日	更新許可		
平成 27 年 8 月 25 日	事業の一部廃止届出 (廃プラスチ ック類の破碎施設 (記憶媒体の減 容に限る。) の廃止)		

5 規則第 10 条の 4 第 7 項の規定による許可証の提出の有無
なし

○紙くず

- ・建設業に係るもの (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものに限る。)
- ・新聞業 (新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うものに限る。) に係るもの。
- ・出版業 (印刷出版を行うものに限る。) に係るもの。
- ・パルプ、紙又は紙加工品の製造業に係るもの。
- ・製本業及び印刷物加工業に係るもの。

○木くず

- ・建設業に係るもの (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものに限る。)
- ・木材又は木製品の製造業 (家具の製造業を含む。) に係るもの。
- ・パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品賃貸業に係るもの。
- ・貨物の流通のために使用したパレット (パレットへの貨物の積付けのため
に使用した梱包用の木材を含む。) に係るもの (業種限定なし)

○繊維くず

- ・建設業に係るもの (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものに限
る。)
- ・繊維工業 (衣服その他の繊維製品製造業を除く。) に係るもの。

※ この処分について不服がある場合は、この処分があつたことを知った日の翌日から起算して 3 か月以内に、北海道知事に対して審査請求をすることができます。

また、この処分があつたことを知った日の翌日から起算して 6 か月以内 (適法な審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決があつたことを知った日の翌日から起算して 6 か月以内) に、札幌市 (訴訟公において札幌市を代表する者は札幌市長となります。) を被告として、処分の取消しの訴えを提起することもできます。

許可番号 第00100004495号

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 札幌市東区北丘珠五条四丁目5番7号
氏 名 北清企業株式会社 代表取締役 川井 雄一

優
良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

北海道知事 高橋 はるみ

許可の年月日
許可の有効年月日

平成27年 8 月 5 日
平成34年 8 月 4 日

1. 事業の範囲

燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉋さい、がれき類、動物のふん尿、ばいじん。以上、石綿含有産業廃棄物であるものを含む。また、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含み、燃え殻、汚泥、廃酸、廃アルカリ、鉋さい、ばいじんについては、水銀含有ばいじん等であるものを含む。積替保管なし。以下余白。

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとの積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ

3. 許可の条件

4. 許可の更新又は変更の状況

(昭和63年 4 月 1 日	新規許可【小樽市】
平成 5 年 8 月 5 日	許可の更新
平成 6 年 4 月 1 日	許可の更新【小樽市】
平成10年 8 月 5 日	許可の更新
平成11年 4 月 1 日	許可の更新【小樽市】
平成12年12月26日	変更許可（廃酸、廃アルカリの追加。）
平成13年10月26日	変更許可（廃プラスチック類の追加。）【小樽市】
平成15年 8 月 5 日	許可の更新
平成16年 4 月 1 日	許可の更新【小樽市】
平成18年 4 月 1 日	小樽市より移管
平成20年 8 月 5 日	許可の更新
平成27年 8 月 5 日	許可の更新

5. 積替え許可の有無

☒有・無

札幌市 許可番号 第05110004495号

※当欄は、北海道内政令市における積替え許可の有無を示している。

6. 規則第9条の2第5項の規定による許可証の提出の有無

☒有・無

平成29年10月11日許可証書換交付

(石狩振興局)

許可番号 第00150004495号

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 札幌市東区北丘珠5条4丁目5番7号

氏 名 北清企業株式会社 代表取締役 川井 雄一

優
良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第14条の5第1項の許可を受けた者であることを証する。

北海道知事 高橋 はるみ

許可の年月日 平成28年 2 月 4 日

許可の有効年月日 平成34年 6 月 30 日

1. 事業の範囲

廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類）、廃酸（pH2.0以下のもの）、廃アルカリ（pH12.5以上のもの）、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物（詳細は第2面記載のとおり。廃ポリ塩化ビフェニル等、ポリ塩化ビフェニル汚染物については、低濃度ポリ塩化ビフェニルに限る。）。積替保管なし。以下余白。

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を行う特別管理産業廃棄物の種類、特別管理産業廃棄物に係る積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ

3. 許可の条件

4. 許可の更新又は変更の状況

平成 5 年 7 月 1 日	許可の更新【小樽市】
平成10年 6 月 28日	許可の更新
平成10年 7 月 1 日	許可の更新【小樽市】
平成15年 6 月 28日	許可の更新
平成15年 7 月 1 日	許可の更新【小樽市】
平成18年 4 月 1 日	小樽市より移管
平成18年 8 月 4 日	変更許可（感染性産業廃棄物の追加。）
平成19年 8 月 1 日	変更許可（特定有害産業廃棄物の追加。）
平成20年 7 月 1 日	許可の更新
平成27年 7 月 1 日	更新時変更許可（1,4-ジオキサンの追加。）
平成28年 2 月 4 日	変更許可（鉍さい、ばいじん、汚泥、廃酸、廃アルカリ（以上5種類は、アルキル水銀化合物を含むもの。）、廃ポリ塩化ビフェニル等（低濃度ポリ塩化ビフェニルに限る。）、ポリ塩化ビフェニル汚染物（低濃度ポリ塩化ビフェニルに限る。）の追加。）

5. 積替え許可の有無

有・☒無

6. 規則第10条の12第2項の規定による許可証の提出の有無

☒有・無

(石狩振興局)

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号 第 0 0 1 5 0 0 0 4 4 9 5 号
 許可業者の名称 北 清 企 業 株 式 会 社

取扱う特別管理産業廃棄物（うち特定有害産業廃棄物）の種類

廃棄物の種類 含有等する 有害物質の種類	廃ポリ塩化ビフェニル等	ポリ塩化ビフェニル汚染物	ポリ塩化ビフェニル処理物	廃石綿等	指定下水汚泥	鉍さい	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	輸入された廃棄物の焼却施設において発生するばいじん	輸入された廃棄物のうちばいじん
石綿				○										
アルキル水銀化合物						○	○			○	○	○		
水銀又はその化合物（アルキル水銀化合物を除く）						○	○			○	○	○		
カドミウム又はその化合物						○	○	○		○	○	○		
鉛又はその化合物						○	○	○		○	○	○		
有機燐化合物										○	○	○		
六価クロム化合物						○	○	○		○	○	○		
砒素又はその化合物						○	○	○		○	○	○		
シアン化合物										○	○	○		
ポリ塩化ビフェニル	○	○												
トリクロロエチレン									○	○	○	○		
テトラクロロエチレン									○	○	○	○		
ジクロロメタン									○	○	○	○		
四塩化炭素									○	○	○	○		
1,2-ジクロロエタン									○	○	○	○		
1,1-ジクロロエチレン									○	○	○	○		
シス-1,2ジクロロエチレン									○	○	○	○		
1,1,1-トリクロロエタン									○	○	○	○		
1,1,2-トリクロロエタン									○	○	○	○		
1,3-ジクロロプロペン									○	○	○	○		
チウラム										○	○	○		
シマジン										○	○	○		
チオベンカルブ										○	○	○		
ベンゼン									○	○	○	○		
セレン又はその化合物						○	○	○		○	○	○		
1,4-ジオキサン							○		○	○	○	○		
ダイオキシン類														
（有害物質の指定なし）														

以下余白。

(石狩振興局)

札幌市一般廃棄物収集運搬業許可証

札幌一廃抜根許可 第 90 号

住所 札幌市東区北丘珠5条4丁目5番7号

氏名 北清企業 株式会社
代表取締役 川井 雄一

札幌市長 上田 文雄



(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第1項の許可を受けた者であることを証します。

許可の年月日 平成 4 年 4 月 1 日

許可更新の年月日 平成 24 年 4 月 1 日

許可の有効年月日 平成 26 年 3 月 31 日

事業の範囲

伐採物・抜根等の収集運搬に限定

営業の区域 札幌市

許可の条件 なし

許可の更新の状況			市長印
許可更新の年月日	平成 26 年	4 月 1 日	
許可の有効年月日	平成 28 年	3 月 31 日	
許可更新の年月日	平成 28 年	4 月 1 日	
許可の有効年月日	平成 30 年	3 月 31 日	
許可更新の年月日	平成 30 年	4 月 1 日	
許可の有効年月日	平成 32 年	3 月 31 日	
許可更新の年月日	令和 2 年	4 月 1 日	
許可の有効年月日	令和 4 年	3 月 31 日	
許可更新の年月日	年	月 日	
許可の有効年月日	年	月 日	